

【単元の目標】 ○戦争や平和に関する詩や資料に関心を持ち、自分の考えを深めようとしている。【国語への関心・意欲・態度】  
○論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くことができる。【B書くこと イ】  
○文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつことができる。【C読むこと エ】  
○詩や収集した資料に用いられている漢字を正しく読むことができる。【伝国 ウ（イ）】

【単元を貫く言語活動】  
「平和についてアピールするちらしを書く」

- ①複数の資料（詩）を読み比べ、構成の展開、表現の工夫の仕方について評価する力を付けたり、自分の意見を持たせたりする。
- ②アピールする場を設けることで、相手意識と目的意識を育む。
- ③「発信する価値」「発信する形態（詩）の良さ」「発信する側の責任」についての考えを深める。

【本校で身に付けさせたい資質・能力】

《スキル》 表現力 **思考力**

《意欲・態度》 主体性 多様性に対する適応力

《価値観・倫理観》 自己効力感 **責任感**

年齢が高くなったり、節目の年だったりすると増加しています。しかし、それでも七割に満たない人しか答えられませんでした。さらに年々減少が進んでいます。このように戦争についてよく知らない人が増えていることが大きな問題になっています。

私たちの住んでいる広島のことなのに、こんなに知らない人がいるのはどうかと思います。今、被爆者の高齢化により、語り手が少なくなっているからこそ、意識を高めていく必要があると思います。

㊦ちらしを互いに評価し合い、「伝える極意〇か条」を作る。

- 1 ちらしの工夫やその効果を互いに評価する。
- 2 「伝える極意〇か条」を考える。
- 3 単元をふりかえる。
  - ・読み手、伝える側として気をつけること。
  - ・学習を通して学んだこと。

㊦資料を的確に読み取って課題を見付け、解決の見通しを持つことができる。

- 1 クラスで意識調査を行い、その結果を提示する。
- 2 他地域の意識調査を提示する。
- 3 資料から分かること、疑問や課題を見つけさせる。
- 4 課題の見通しを持たせる。



①課題の設定

⑤振り返り

②情報の収集  
整理・分析

並行読書



㊦資料を読み取る手順を学び、作者の思いとその思いについての自分の考えを説明することができる。

- 1 資料を読む観点を示す。
- 2 思考する手立てのツールを示す。
- 3 交流し、多様な情報を収集させる。
- 4 ツールを用い、関連付けさせる。
- 5 手順1～4を繰り返し、スキルを定着させる。



③まとめ・創造・表現

㊦「詩の形態の良さ」や「発信することの価値」を見出し、「効果的な発信方法」を選択することができる。

- 1 学習したことを振り返り、訴える対象を焦点化する。
- 2 「詩の形態の良さ」を知る。
- 3 「発信、表現することの価値」について考える。
- 4 アピールするための媒体を選択する。

㊦平和をアピールするためのちらしを作成する。

- 1 ちらしに書くべき事柄を知る。
- 2 1で見付けたポイントを取り入れながら、ちらしを作成する。
- 3 相互評価する。
- 4 評価・アドバイスを生かし、ちらしを完成させる。

④実行



## 課題発見の工夫

## 当事者意識

## 予想

## 既有知識

## 比較

## ズレ

## ギャップ

アンケートを行うことで自分事として、資料に向かう

### 【資料1】3年A組の意識調査

|                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| ① 今年は戦後70年                           | 79.3% |
| ② 広島に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月6日8時15分 | 75.9% |
| ③ 終戦日は、8月15日                         | 41.3% |
| ④ 長崎に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月9日11時2分 | 41.3% |
| ⑤ 広島県で空襲にあったのは福山市と呉市                 | 24.1% |

### 【資料2】他地域の意識調査

| 項目                                     |     | H7    | H12   | H17   | H22   |
|----------------------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 「広島原爆投下の正確な年・月日・時分」についての知識・理解(全て正解の場合) | 小学生 | 55.7% | 35.2% | 49.6% | 33.0% |
|                                        | 中学生 | 74.7% | 63.0% | 67.6% | 55.7% |
|                                        | 高校生 | —     | —     | —     | 66.3% |

「考えなくてはいけない」  
「学びたい」  
↓  
「継続した課題意識」

### 【予想・既有知識・認識】

他地域の意識調査を提示。自分の期待している数値よりも低いことに「驚き」「疑問」  
「ズレ」や「ギャップ」から生まれる「課題意識」

## 情報の収集・整理・分析

## 視点

## ツール

## 比較・分類・関連付け

### 【視点】

【5W1H】の視点に沿って、詩からわかることを読み取り、シンキングツールに書き込む。

- ① when…時代、季節、日時、いつ書かれたものか
- ② where…国、場所、場面設定
- ③ who…誰について、誰に向けて、誰の視点
- ④ what…何について、どんなこと
- ⑤ why…なぜこの作品を書いたのか、作者の思い  
how…どのように、どのような(5Wを詳しくする)

### 【ツールによる比較・分類・関連付け】

作者はきっと、詩を書くときに当時のことを思い出し、苦しかっただろうなと思いました。わたしが疑問に思ったのは、AとCの詩が、作者の視点(被害者の視点)で書いてあるのに対し、Bは遠くから眺めているような書き方がされている点です。自分の視点のほう書きやすいだろうし、思いも伝えやすいのに、あえて別の視点で書いたのは、読み手に状況を想像させやすくするためなのかなとも思いました。【A】

※自分なりの疑問を持ち、それに対する自分なりの答えを出している。

作者はカタカナを使っており、それから原爆の被害の重みを感じました。作者は原爆について、「人間の変化」を書くことで、「もう二度と起こしてはならないんだ。」と伝えたかったのだと思います。【B】

※表現・表記に着目し、作者の意図に迫っている。

作者は、この詩を書くとき、とても苦しうだなと思いました。この詩を読んで、僕たちも原爆はとても悲しいなと思いました。【C】

※作者の気持ちに迫り、それに対する自分の思いを書いている。

